



# 週間情報



No.2526

発行日 平成25年7月16日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画課 03(3234)1321

## 両会の動き

### ◆ 消防団体保険加入のご案内

#### 一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会（以下「協会」という。）の消防団体保険は、全国の消防職員のための福利厚生制度として、全国の消防職員とそこご家族の皆様だけが加入できる特別な団体保険であり、多くの皆様の職場と日常生活の安心にご利用いただいております。

もしもの時の生命保険から、ケガや病気で入院、手術した際の保障（補償）、さらに業務上の損害賠償を補償するものまで各種の保険を取りそろえており、いずれの保険も団体割引でお手頃な保険料と充実の保障（補償）をご提供しております。

**当該保険は毎年2回加入者を募集しておりますが、今回は2回目の募集となり、今年最後の加入のチャンスとなります！**

**個人保険の見直しをお考えの方や、新たに格安保険への加入をご検討中の方、また、退職後の保険をご心配の方等、この機会に各種保険の保障（補償）内容と保険料をご確認のうえ、消防職員にとって大変有利な協会の団体保険に、是非ご加入下さい！！**

#### 1 今回ご案内している主な保険

保険名称	保険期間	申込書提出締め切り
全国消防グループ保険 (生命保険) 医療保障保険	平成25年12月1日～平成26年5月31日	<b>平成25年9月6日</b> (各本部担当者への提出期日です。)
消防職員医療保険 消防職員傷害保険	平成26年1月1日～平成27年1月1日	<b>平成25年8月16日</b> (各本部担当者への提出期日です。)
消防職員賠償責任保険	平成25年10月1日～平成26年4月1日	<b>平成25年8月16日</b> (郵便振込による申込兼保険料納入の期日です。)

#### 2 各保険の主な特徴

保険名称	保障（補償）内容	こんな方におすすめ
全国消防グループ保険（生命保険）	<b>死亡と高度障害</b> 及び <b>ケガ</b> による <b>入院</b> を保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格安な保険料の生命保険に加入したい。</li> <li>・ もしもの時の保障とケガの入院保障を同時に希望する。</li> <li>・ 退職後も継続加入を希望したい。<b>（来年3月末退職予定で、現在未加入の方は今回が加入の最後のチャンスとなります。）</b></li> <li>・ 配当金（払戻し）を楽しみたい。</li> </ul>
医療保障保険	<b>ケガと病気</b> の <b>入院</b> を保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生命保険と入院の保障を一つの保険で契約したい。</li> <li>・ 配当金（払戻し）を楽しみたい。</li> </ul>

消防職員医療保険	ケガと病気の入院、手術、葬祭費用を補償 (地震、噴火、津波等によるケガも補償します。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・格安な保険料の医療保険に加入したい。</li> <li>・ケガと病気による入院や手術の補償を希望する。</li> <li>・先進医療に対する補償が心配。</li> </ul>
消防職員傷害保険	ケガの通院、入院、手術、死亡・後遺障害を補償 (地震、噴火、津波等によるケガも補償します。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガだけが心配。</li> <li>・ケガの通院の補償を希望する。</li> <li>・家族が4人以上で、スポーツ等でケガをする機会が多い。<u>(家族コースがお勧め。)</u></li> </ul>
消防職員賠償責任保険	詳細は WEB サイト ( <a href="http://www.ffaj-shobo.jp">http://www.ffaj-shobo.jp</a> ) でご確認ください。	

○各保険の詳細につきましては、各本部に送付していますパンフレット又は以下の協会ホームページでご確認ください。

【 <http://www.ffaj-shobo.or.jp/hoken/index.html> 】

○本件についてご不明な点等は、各本部の保険事務担当者又は以下の協会担当までお問い合わせください。

**【全国消防グループ保険（生命保険）・医療保障保険】**

問い合わせ先：財務課

担 当：<sup>かわの</sup>河野、石井

フリーダイヤル：0120-119-147

電 話：03-3234-1321

**【消防職員医療保険・消防職員傷害保険・消防職員賠償責任保険】**

問い合わせ先：全国消防保険サービス㈱（協会損害保険取扱代理店）

担 当：<sup>さいがみ</sup>妻神、<sup>みしな</sup>三品 <sup>こうもと</sup>高本

フリーダイヤル：0120-065-988

電 話：03-3234-1331

## 消防本部の動き

### 行事

#### ◆ 少年消防クラブ被服等貸与式の実施

伊那消防組合消防本部伊那消防署では、平成25年6月16日（日）、「少年消防クラブ被服等貸与式」を実施しました。

伊那消防署管内には、2つの少年消防クラブがあり毎年、放水訓練や規律訓練、火災予防の広報活動等の研修が行われています。

今回の被服整備は、発足時より着用してきた法被が、劣化してきたことに伴うもので、安全ベスト、アポロキャップ、保安帽、保安指示棒を整備しました。

被服貸与式では、伊那消防組合長である白鳥伊那市長より、被服等がクラブ員に手渡され、クラブ員の代表からは、「これを着て、火事がなくなるよう火災予防の呼びかけを頑張りたいです。」と、力強く抱負が語られ、当消防本部では、少年消防クラブの活躍を期待しています。

#### 伊那消防組合消防本部（長野）



【少年消防クラブ被服貸与式の様子】

#### ◆ 新「弘前地区消防事務組合消防本部」の発足

#### 弘前地区消防事務組合消防本部（青森）

弘前地区消防事務組合消防本部では、平成25年7月1日（月）、黒石地区消防事務組合消防本部、平川市消防本部、板柳町消防本部の3消防本部を統合し、新たな消防本部として発足しました。

構成自治体は8市町村、職員数は440名に拡大し、東北地区支部の消防組織としては仙台、新潟、盛岡、青森に続いて東北5番目の規模となりました。同日、弘前市の消防本部で発足式を行い、関係者80名が消防・防災力の更なる向上を誓いました。

新組合には黒石市、平川市（平賀・尾上地区）、板柳町、田舎館村が新たに加わり、所管する人口は約30万1500人、面積は約1600平方キロメートルとなりました。

5消防署10分署体制を維持し、当面は従来の消防署が119番通報に対応しますが、災害現場には最も近い消防署・分署から出動するため、到着時間の短縮が見込まれます。2016年5月までに整備する消防救急無線デジタル化と並行して、同消防本部に指令機能を一元化します。

発足式では、同組合管理者の葛西弘前市長が、黒石、平川、板柳の消防本部職員180名分の採用辞令のほか、組合消防旗・消防署旗を木村誠二消防長らに渡しました。葛西市長は「広域化によるメリットを享受しながら、スピード感・機動力を有する、防災・減災体制の強化を図っていく」とあいさつし、三村青森県知事（代理・青山青森県副知事）と木村太郎衆院議員が祝辞を述べた後、市町村長や幼年消防クラブの子どもたちが、はしご車が高さ約6メートルからつるしたくす玉を割りました。

8市町村は、青森県の消防広域化推進計画に基づき、2010年8月から統合協議を始め、同計画に基づく統合は今年2月、北部上北広域事務組合を脱退した平内町が青森地域広域消防事務組合に加入したケースに続き2例目で、消防本部同士が統合するのは今回が初めてとなりました。



【新たな弘前地区消防事務組合の発足式の様子】

## ◆ 「消防ちびっこひろば2013」を開催

### 大津市消防局（滋賀）

大津市消防局では、平成25年7月2日（火）、南消防署において、「消防ちびっこひろば2013」を開催しました。

このイベントは市内の園児を対象に、参加型のゲームや消防訓練披露、音楽隊による演奏を通じて防火意識の向上を目的として毎年開催しているもので、保護者を含め約600人が参加しました。

当日は『楽しみながら防火の大切さを知ろう』を合言葉として、積極的に取り組む園児の姿が印象的で、終了後には「火遊びは絶対にしません」と力強く語ってくれました。

当消防局では、このようなイベントを通じて、幼少期における防火思想普及活動を継続して実施していきます。



【消防ちびっこひろばの様子】

## ◆ 防火七夕祭りを開催

### 奈良市消防局（奈良）

奈良市消防局中央消防署では、平成25年7月5日（金）、署の向いにある「すまいる保育園」の園児達を招いて「防火七夕祭り」を開催しました。

この行事は、夏休みなどで花火などを行う機会が増えることにあわせて、3～5歳までの保育園児約40名、保育士さん、署員らが協力し合って笹に願いごとを短冊に書き取り付けました。

中井中央消防署長からは「花火をすることもあると思いますが、火には十分気を付けてくださいね。」との訓話の後、園児達は「僕達、私達は絶対に火遊びをしません。」と力強く誓いました。

最後は、奈良市消防局マスコットキャラクター「なっぴい」との記念撮影を行いました。



【防火七夕祭りの様子】

## ◆ 水難事故発生時における消防活動支援協定を締結

### 湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、平成25年7月5日（金）、当消防局において、管内全ての漁業協同組合と「水難事故発生時における消防活動支援に関する協定」を締結し調印式を行いました。

この協定は、当消防局管内で発生した水難事故において、人命救助など早期の対応を目指すため、当消防局から漁業協同組合に出動要請を行い、要請を受けた同組合から、漁船が水難事故現場へ迅速に出動し捜索救助する、又は、消防隊員を乗船させ水難事故現場へ搬送するシステムを構築したものです。

今回の締結によって、水難救助体制のより一層な強化を図っていきます。



【管内漁業協同組合との協定締結調印式の様子】

## 教 養

## ◆ 合同鉄道研修会を開催

### 西濃ブロック消防長会（岐阜）

西濃ブロック消防長会では、平成25年7月2日（火）、養老鉄道西大垣駅において合同鉄道研修会を実施しました。

この研修会は、岐阜県の西濃地域にある5消防本部の職員65名が参加し、事故発生時の対応、救助業務等の知識・技術の更なる向上を図ることを目的に養老鉄道株式会社と近畿日本鉄道株式会社のご協力のもと実車を使用した研修となりました。

また、鉄道災害が社会に与える影響が非常に大きく、一度発生すると人的被害はもとより救助隊員や救急隊員に与える活動危険が非常に大きなものなることを理解し、安全管理に留意した活動を行うなど、今後の鉄道災害に対応していきます。



【西濃ブロック消防長会鉄道研修会の様子】

## その他

### ◆ 会員の退会

- 20604 黒石地区消防事務組合消防本部（青森）
- 20612 板柳町消防本部（青森）
- 20615 平川市消防本部（青森）

（平成25年6月30日付けで退会）

※ 弘前地区消防事務組合消防本部と平成25年7月1日付けで統合したため。

### ◆ 消防本部の組織変更について

- 20601 弘前地区消防事務組合消防本部（青森）
  - ※ 構成市町村：弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村  
（平川市は碓ヶ関地区以外が加入）
  - ※ 平成25年7月1日から変更

## いつやるの？今でしょ！ —消防学校からの便り—

### ◆ 開校記念祭を実施

#### 和歌山県消防学校

和歌山県消防学校では、平成25年6月28日（金）、当消防学校において、「初任教育第37期生、俺たちは仲間だ！」というサブタイトルで、第37回開校記念祭を開催しました。

この行事は、昭和52年7月1日に消防学校が開校した事を記念し、毎年この時期に行っています。

また、6か月間にわたる初任教育の中間地点に当たるこの行事は、所属関係者やご家族の方々に、前半（3か月間）における成長を披露する場でもあります。

さらに、内容・準備・進行について概ね学生が主体で進め、協力し合い、議論を交わしながら調整し、最終的に一致団結し成功させることにより「絆」を深め、後半の厳しい教育訓練に臨む準備をさせる、という狙いもあります。

4月の入校当初は頼りなく思えた学生達でしたが、当日に見せたはつらつとした表情やいきいきとした行動は、頼もしくも思え、着実に消防士になるための階段を上っていることを確信しました。職員一同、本当に感動しました。

ただし、ここからがいよいよ初任教育の本番。「厳しい試練の中で底力を見せてみろ！」と教官達の厳しい指導がこれからも待っています。



【ご家族などが見学するなかでの開校記念祭の様子】

## 国等の動き

### ◆ エアゾール式簡易消火具の不具合に係る注意喚起等について

エアゾール式簡易消火具の不具合に係る注意喚起等について（平成25年7月8日付け消防予第274号）が予防課長より、各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

#### 消防庁

標記の件については、「エアゾール式簡易消火具の不具合に係る注意喚起等について」（平成24年11月5日付け消防予第403号）により注意喚起をお願いしているところですが、その後も破裂事故が続いており、平成25年6月30日現在、事故認知本数は6,121本に達しています。（別添1（省略）「エアゾール式簡易消火具の製品事故の状況」参照）つきましては、下記事項に留意し、引き続き注意喚起をお願いします。

また、破裂事故を覚知した場合は、「消防用設備等及び消防関係製品に関する不具合・事故等に係る情報の消防庁への報告について」（平成22年3月31日付け消防予第156号 消防危第50号）及び「消防用設備等及び消防関係製品に関する不具合・事故に係る情報の消防庁への報告について」（平成22年6月7日付け事務連絡）に基づき、報告をお願いします。

各都道府県消防防災主管部長にあつては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知いただくようお願いします。

#### 記

#### 1 対象製品

ヤマトプロテック株式会社製「ヤマトボーイKT」及び「FMボーイk」のうち、別添2（省略）に示す製造ロット番号に該当するもの。

#### 2 不具合について

当該エアゾール式簡易消火具は、製造工程上の不具合により容器内面の腐食が進み破裂するもの。

#### 3 廃棄処分の方法

当該エアゾール式簡易消火具は、消火薬剤を放射することで、容器内の圧力が下がり破裂の危険が排除されるため、ヤマトプロテック株式会社は別添2（省略）により消費者自身での薬剤放出及び廃棄処分を依頼している。（ただし、消費者自身で薬剤放出等をできない場合は回収により対応。）

#### 4 その他

(1) 広報等に使用するため、別添2 のパンフレットが必要な場合は、以下の連絡先に必要部数、送付先等を連絡してください。

ヤマトプロテック株式会社 お客様相談窓口 0120-801-084

(2) 当該製品事故は、気温の上昇と共に増加する傾向が見受けられます。

各機関におかれましても、火災予防運動や各種行事の機会をとらえた注意喚起のほか、地域の広報誌、回覧板、ホームページ等への掲載など、引き続き広報活動にご協力いただきますようお願いいたします。

○ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2507/pdf/250708\\_yo\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2507/pdf/250708_yo_1.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】 予防課予防係

担当： 増沢、中田

E-mail : [k2.nakata@soumu.go.jp](mailto:k2.nakata@soumu.go.jp)

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

**週間情報への投稿は企画課へ！**

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : [weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)